

# 巽 孝彦

医療法人マックシール理事長

## 理念のこだわり

- ・法人の見据える「人」は患者・家族だけでなく職員なども入る
- ・職員のネームプレート裏面にも理念と基本方針の文言を記載
- ・理念の具体化に向け「段階」に応じたメッセージを発信

### 「理念」を法人名に織り込み 効果的な周知を図る

私は1994年に先代から引き継いだ個人病院「巽病院」を改組して医療法人を設立し、理事長に就任しました。その時に必要なものとして理念と基本方針を掲げました。先々が47年に池田市内で10床の有床診療所として開院して以来、長年にわたって地域医療にかかわってきた足跡を踏まえつつ、この先、法人が進むべき方向性も示したのです。

#### 【理念】

法人の存在の意味は、病める人は元よりそれにかかわる人の生命を守り、人生を尊び健康で心豊かな社会生活を育むことにある。

#### 【基本方針】

法人に集まる職員はより良き医

療の実現をめざし

「1.利用者様」「2.職場」「3.組織運営」の点から次のことを目標に掲げ地域社会に貢献する。

1. 利用者様を家族と考え、安心でき心が満たる医療及び介護を提供する。
2. 相手の気持ちを思いやり、個人の能力が発揮できる職場を創る。
3. 無理・無駄・斑の無い運営で、長期的な発展を図る。

実は理念と基本方針で示した考え方は法人名にも託しています。それが「マックシール」です。マックシール(McSYL)と「Medical corporation of Saving Your Life」

の頭文字を取っており、直訳すると「人々の生命・生活・人生を救い・守り・蓄える」となります。

さらに、ここでの「人々」は、患者・利用者および家族、職員など、

大阪府の北摂地域で急性期医療を担う巽病院をはじめ回復期、在宅、介護まで展開する医療法人マックシール。理念と基本方針には、具体的な「実践」を見据えたメッセージが込められている。

同法人にかかわるすべての人々を指しています。また「MC」ではなく「Mc」とすることで、「子どもたち・受け継ぐ人々」との意味も含まれました。

一般的に多くの医療法人は「〇〇会」と称していますから、「McSYL」と聞くと驚く人もいますが、法人の理念や基本方針についても検討していくなかで、法人名に要点を織り込むことによって職員全員に周知させることができるのではないかと考えたのです。

すべての職員のネームプレートの裏面には法人名の「Medical corporation of Saving Your Life」と理念および基本方針の文言も記されています。職員一人ひとりが「Your」の当事者であることを自覚し、理念や基本方針と自然な形で向き合うことができるようにという思いを込めています。

# 理念なくして経営なし

法人名にも理念で示した  
思いを込めました



1979年、大阪医科大学付属病院臨床研修了。85年、米国クリーブランドクリニック人工臓器部研究員。90年、大阪医科大学胸部外科講師。94年、医療法人マックスール理事長。

## 法人理念

法人の存在の意味は、  
病める人は元よりそれにかかわる  
人の生命を守り、人生を尊び  
健康で心豊かな  
社会生活を育むことにある。

## JCI 認証病院として さらなる「質の向上」を追求

理念、使命、基本方針は混同されがちですが、それぞれが示すメッセージは明確に異なります。「理念」という仕掛けによって「命を救う」という「使命」への共感を求め、そのうえで「運営方針」や「戦略」などを踏まえながら、実現に向けた「事業計画」と「行動」につなげていくことが求められます。つまり理念の実現に至るまでには「段階」を踏む必要があります。各段階で取り組む具体的な課題を示すべきなのです。

私は年度始めに、毎年度の「事業計画」を法人内の職員全員に伝えていますが、部門ごとの改善点や強化点なども具体的に示すことにしています。それによって職員個々の目標がより明確になるからです。

一例をあげると国際的な医療機能評価であるJCI (Joint Commission International) の認証取得があります。異病院は、昨年12月に全国で18番目、関西では初めて、JCIの認証病院となりました

だが、これは2014年12月から約2年間にわたり約300人の職員が理念や方針を共有し、一丸となって病院全体の進化改善に取り組んだ賜物です。

理念を具体化する目標を掲げるとしても、その達成には、やはり「医療の質の向上」が不可欠と考えたのが認証取得を思い立ったきっかけです。医療の質とは「有効性」「公平性」「効率性」「患者中心」「適時性」「安全性」を意味すると定め、これらをただ唱えるだけで終わらせないよう、具体的な目標を設定したわけです。我々のような私立の小型病院だからこそ、日々積み上げてきた医療の質を示せるエビデンスを持ち、患者様や利用者様から求められる「良い病院」へ向けた取り組みが必要と考えました。

今回の認定取得によって当法人の理念を一つの形にできましたが、これはゴールではなく新たなスタートです。今後も「質の向上」を追求し、「医療・介護のシームレスケア」にさらなる磨きをかけていきたいと思っています。